

第15回山形県障がい者スポーツ大会卓球競技実施要領

1 日 時 平成28年 5月 8日(日)

受 付 9時30分(1階展示ホール・ロビー前)

開 始 式 10時00分(1階屋内運動広場)

競技開始 10時30分

競技終了 15時00分

2 会 場

天童市総合福祉センター 屋内運動広場・第1学習室・第2学習室

天童市老野森二丁目6番3号 電話：023-654-5156

3 主 管(運営協力)

・山形県卓球協会

・山形県身体障害者卓球協会

・天童クラブ

4 競技規則

平成28年度(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会規則」、日本卓球ルール及び大会申し合わせ事項による。

5 参加対象者

・身体障がい者(肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい)

・知的障がい者

6 競技方法

(1) 競技種目は、男女シングルの一般卓球とサウンドテーブルテニス(STT)とする。

(2) 部門は、肢体不自由(上肢・下肢・車いす)、聴覚障がい、知的障がい、視覚障がい(STT)の6部門とする。

(3) 試合は、各部門毎予選リーグ・決勝トーナメント方式とし、原則として同一部門の選手でブロックを構成するものとする。(各ブロック1位・2位が決勝トーナメントに進出し、組み合わせは抽選によるものとする。)

(4) 出場選手の少ない部門については、他部門の選手と合わせてブロックを構成することがある。(1ブロック5名以内)

(5) 1ゲームの勝敗は、11ポイントを先取した競技者を勝ちとする。ただし、両競技者の得点が10ポイントに達した後は、2ポイントの差をつけた競技

者を勝ちとする。

- (6) 1 マッチは5 ゲームからなり、3 ゲームを先取した競技者を勝ちとする。
- (7) サービスは、得点の合計が2 ポイント増すごとに交替する。また、双方の得点が10 ポイントになったときは、順序を変えず1 ポイントごとにサービスを交替する。促進ルールは適用しない。
- (8) 肢体不自由者および知的障がい者については、フリーハンド（ラケットを持っていない手の手首より先）がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。
- (9) サーブについて、サーバーは、ボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れずに落下するように、16 cm以上ボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。サーバーは、ボールが落下する途中を打つものとし、そのボールが最初に自領コートに触れ、次いでネットアセンブリを越えるかまたはう回した後、レシーバーのコートに直接触れるように打球する。
ただし、身体的理由により主審の承認を得て、主審が相手方にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。
また、知的障がいについても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (10) 車いす使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際ボールが、①レシーバーのコートに触れた後ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣告される前に打球した場合は、そのまま有効となる。
- (11) 知的障がいの原因と認められる試合の中断があった場合、1つのマッチでの中断時間は最大10分間とする。また、速やかな試合進行のために、審判、監督、介護者等が競技者に進行を促す言葉をかけたり競技者に触れることができる。
- (12) ①STTに出場する選手はアイマスクを着用すること。
②サーバーは主審の「プレー」のコールの後10秒以内に、「サービスエリア」内にボールを置いて一旦静止（静止とは、故意のスピンを防ぐ目的であり、停止より厳しく考え、回転や移動を認めない）させ、レシーバーに対して「いきます」と相手に聞こえるように声を発しなければならない。レシーバーはその後5秒以内に「はい」と相手に聞こえるように返事をしなければならない。サーバーは、レシーバーが「はい」と返事をした後5秒以内にサービスをしなければならない。
③サーブを出すときはラケットをボールから10cm以上離し、ラケットの動きを止めなければならない。平成24年度より一連の動作中に10cm未満でラケットを止めた場合はフォルトになります。
④場内があまりにも騒々しい場合は、主審は一時競技を中止し、静かにさせた後競技を開始しなければならない。

- (13) 事故により一時的にプレーの続行が不能になった競技者に対し、いかなる場合においても5分を越えない最短時間の試合停止を認めることができる。

7 競技用具

使用球は、日本卓球協会の規則の規定に準じたもので、プラスチック製の球体で無光沢のものとする。(40mm・白またはオレンジ/プラスリースター)

試合ラケット検査を実施する。

(J. T. T. A. Aの刻印と商標がなければならない)

8 服 装

競技にふさわしい服装で参加すること。背中には氏名、市町村名の入ったゼッケンを各自用意し着用すること。(縦15cm、横25cm程度/布の色は指定しない)

(例)

山 田
山 形

9 表 彰

- ・各部門毎とし、1位～3位まで表彰する。
- ・3位決定戦は行わない。

10 出場申込方法

- (1) 本部門に出場を希望する者は、別紙「競技種目表」に示されている競技種目のうちから出場種目を選び、出場申込書(様式1-4)により平成28年4月8日(金)までに申し込むこと。(郵送またはメールでの申し込みのみ受け付けます。なお、FAXでの申し込みは一切受け付けないものとする。)
- (2) 参加費は無料とする。
- (3) 出場申込の区分について
- ①特別支援学校・中学校・高等学校在校生は在籍する学校から事務局へ申し込むこと。
 - ②グループホーム・福祉ホーム等入居者、身体・知的障がい者施設への入所・通所者は当該施設から事務局へ申し込むこと。
 - ③在宅の障がい者で、障がい者福祉団体、スポーツ競技団体等に加入している場合は当該団体を通して事務局へ申し込むこと。

④上記以外の者は、市町村福祉担当課を通して申し込むこと。

1 1 その他

(1) 傷害保険の加入について

競技別大会への出場選手及び引率者などは、各人にて傷害保険に必ず加入することとし、主催者側では一切責任を負わないものとする。

(2) 大会における提出書類の様式について

関係機関への案内発送と同時に当協会公式ホームページより閲覧及びダウンロードを解禁する。必要部数等について参加者各位でプリントアウトを行い、卓球競技実施要項記載の締め切り日（4月8日）厳守で大会事務局へ申し込むこと。

(3) 大会競技順及び競技別プログラムについて

大会参加者の競技順は各大会の開催10日前をめぐり、プログラムは5日前をめぐり当協会ホームページよりダウンロードを解禁する。参加者各位でプリントアウトを行い、受付開始時刻に遅れることの無いよう確認すること。また、当日競技場にてプログラムの有料販売を行う。

(4) 全国大会参加希望について

全国障害者スポーツ大会の参加希望について、出場申込書内（様式1-1～5）の回答欄に希望の有無を明確にすること。当該大会に係る選手選考は参加希望者の中から選考委員会の選考を経て、県が決定する。（別紙、資料参照）

【連絡先】

山形県障がい者スポーツ協会

〒990-2231

山形市大字大森385

TEL/FAX 023-686-4084

メールアドレス info@yamagata-adapted.jp

ホームページ <http://www.yamagata-adapted.jp/>

担当：川田・渡辺